

シナリー販売管理ソフト 設定マニュアル

～ 複数のパソコンで使用する場合 ～

販売管理ソフトを複数のコンピュータで使用し、データを共有する場合の設定方法です。

※この設定方法に関しましては、現在ご使用中のネットワーク構築の環境に影響されますので、電話、メールでの無償サポートをお受けすることは出来ません。あらかじめ、ご理解下さい。
なお、有償での設定を承ります。詳細につきましては、ITサポートにご連絡ください。

第1章. インストールされているMicrosoft SQL Serverのバージョン確認

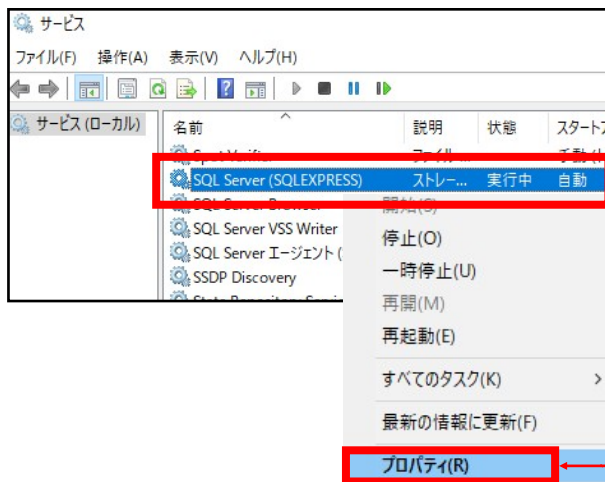


1. 【スタート】をクリック



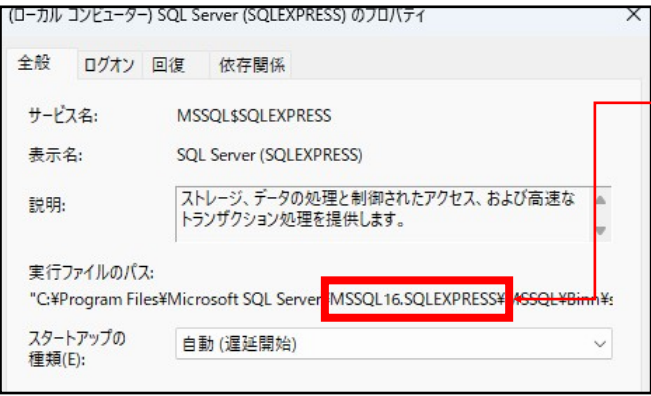
2. 【Windows管理ツール】をクリック

3. 【サービス】をクリック



4. 【サービス】画面にて、以下を確認し右クリック
名前：SQL Server(SQL EXPRESS)
状態：実行中

5. 【プロパティ】をクリック



6. 【実行ファイルのパス】にある【MSSQLxx.SQLEXPRESS】のxxの数字（バージョン）を確認

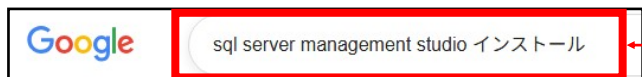
製品名	バージョン
SQL Server 2022	16.0
SQL Server 2019	15.0
SQL Server 2017	14.0
SQL Server 2016	13.0

7. 左表から、バージョンに対応する製品名を確認する

※本例では、バージョンが【MSSQL16.SQLEXPRESS】であることから、製品名は【SQL Server 2022】であることが読み取れます。
本マニュアルはSQL Server 2022を想定しています。以降の内容は、ご利用環境に応じて読み替えて下さい。

第2章. Microsoft SQL Server Management Studioのインストール

※本マニュアルでは、Windows11 64bit版を想定しています。ご利用環境に応じて読み替えて下さい。



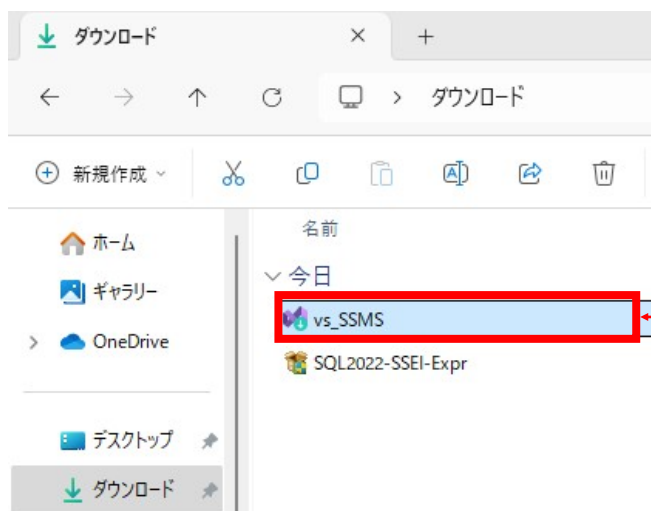
1. 検索サイトにて、下記キーワードを入力し検索
【SQL Server Management Studio インストール】



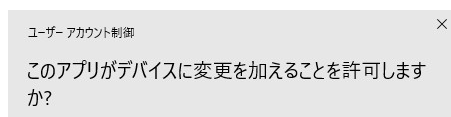
2. 検索結果から左記リンクをクリック



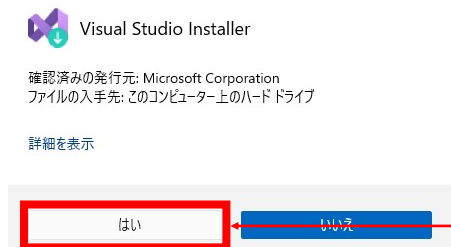
3. 【ダウンロード】をクリック



4. ダウンロードフォルダに、
「vs_SSMS」がダウンロードされます。

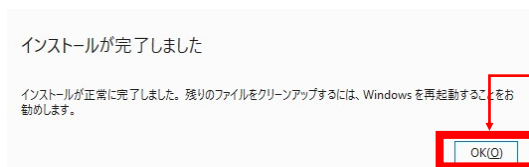


5. ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、
「はい」をクリックします。
Visual Studio Installerが表示されたら、
「続行」をクリックします。

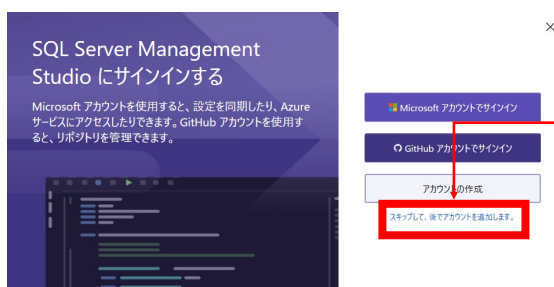




6. 【言語パック】から【日本語】にチェックが入っていることを確認し、【インストール】を実行



7. インストールが完了したら、【OK】

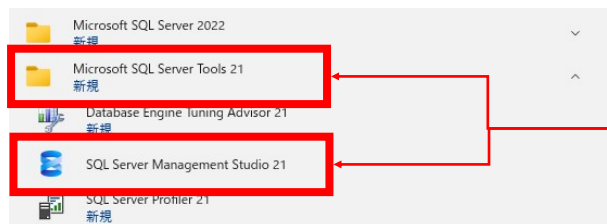


8. サインイン画面が表示されたら、【スキップ】

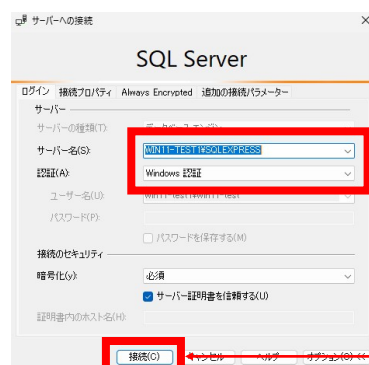
第3章. Microsoft SQL Server 2022 Management Studioの設定



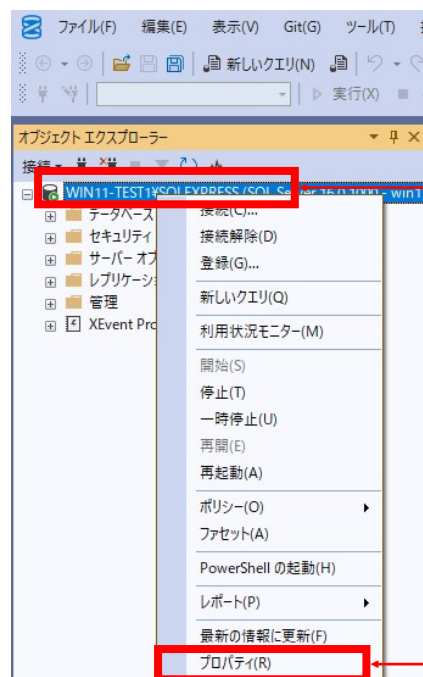
1. 【スタート】をクリック



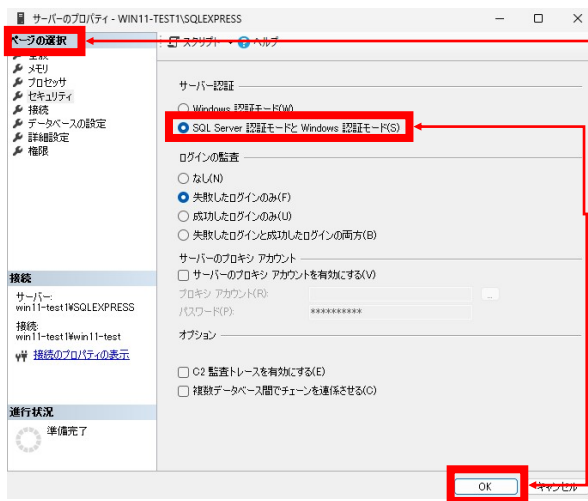
2. 【Microsoft SQL Server 2022】⇒
【SQL Server Management Studio 21】を
クリックし起動



3. 下記を確認し【接続】をクリック
サーバー名：デバイス名\SQLEXPRESS
認証：Windows認証
※デバイス名のメモをお取り下さい。クライアント
側の販売管理ソフトの設定で必要となります。

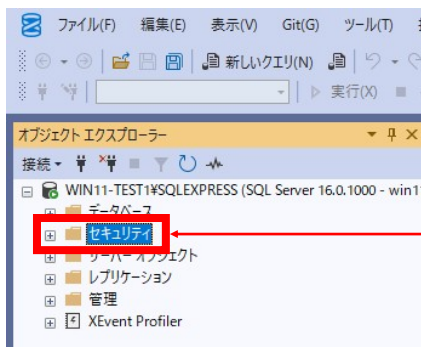


4. 画面左側の【デバイス名\SQLEXPRESS】を
右クリック⇒【プロパティ】

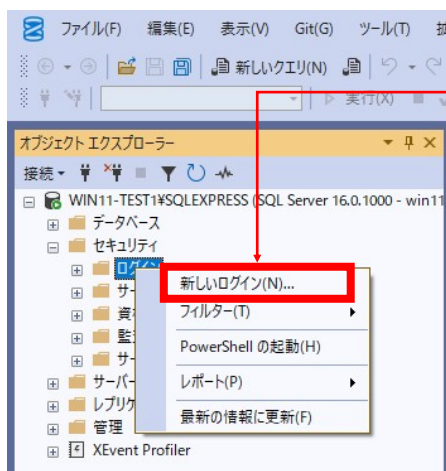


5. 画面左側の【セキュリティ】をクリック

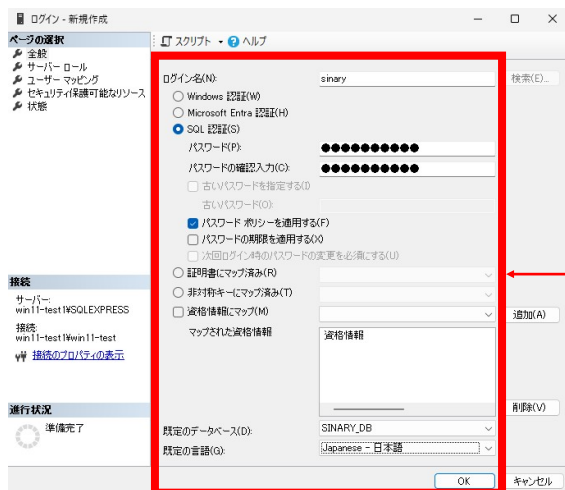
6. 【SQL Server認証モードとWindows認証モード】にチェック⇒【OK】をクリック



7. 画面左側の【セキュリティ】の【+】をクリック



8. 画面左側の【ログイン】を右クリックし【新しいログイン】をクリック



9. 下記の通り設定

ログイン名：sinary

●SQL Server 認証 (←●付ける)

パスワード：sinary1201

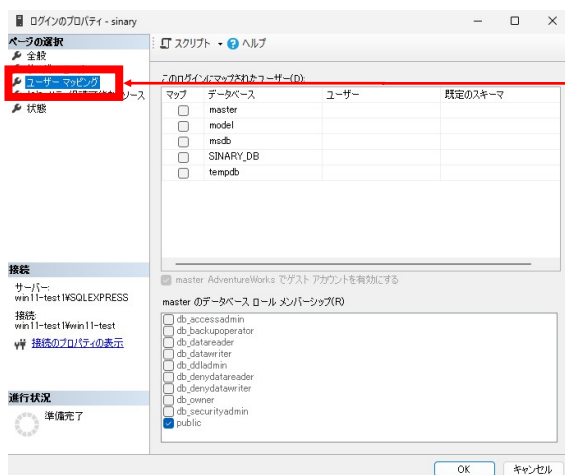
パスワードの確認入力：sinary1201

☒ パスワードポリシーを適用する (←✓付ける)

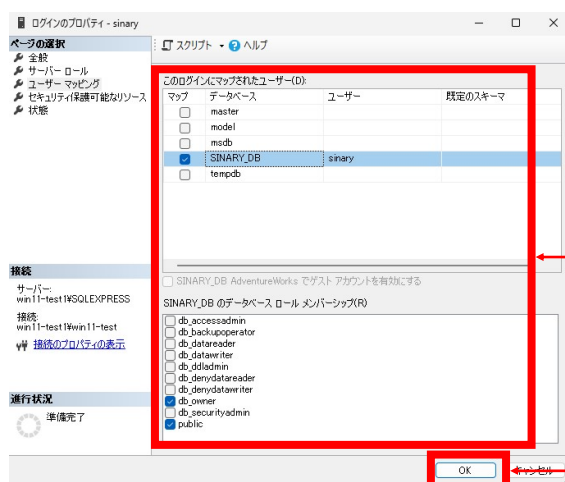
☐ パスワードの期限を適用する (←✓外す)

既定のデータベース：SINARY_DB

既定の言語：Japanese



10. 画面左側の【ユーザーマッピング】をクリック



11. 下記の通り設定し【OK】をクリック

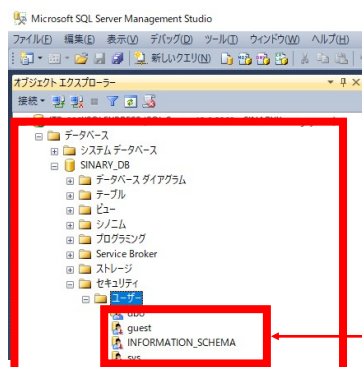
このログインにマップされたユーザー

☒ SINARY_DB (←✓付ける)

SINARY_DBのデータベースロールメンバシップ

☒ db_owner (←✓付ける)

☒ public (←✓付ける)



※もしエラーが発生したら・・・

【データベース】⇒【SINARY_DB】⇒【セキュリティ】
⇒【ユーザー】の中に【Sinary】が存在する可能性
があります。【Sinary】を削除してから再度設定
して下さい。

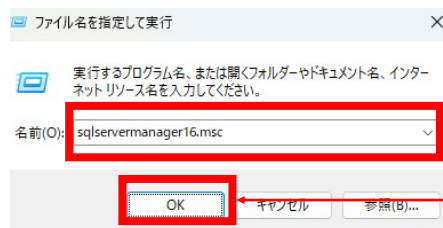
第4章. Microsoft SQL Server 2022 構成マネージャーの設定

製品名	コマンド
SQL Server 2022	SQLServerManager16.msc
SQL Server 2019	SQLServerManager15.msc
SQL Server 2017	SQLServerManager14.msc
SQL Server 2016	SQLServerManager13.msc

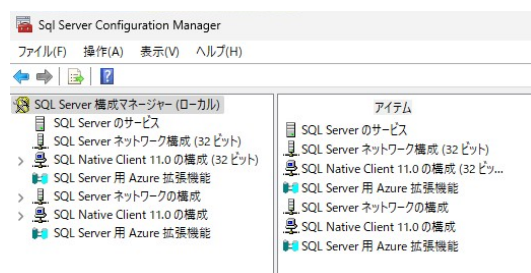
1. 左表から製品名に応じたコマンドを確認



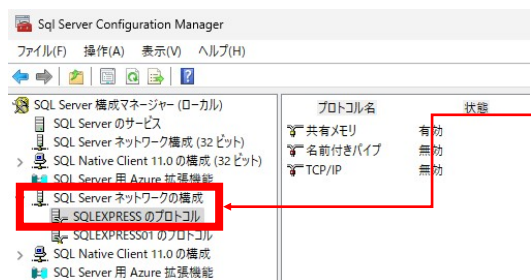
2. キーボード【Windowsロゴ】キーを押しながら「R」キーを押下



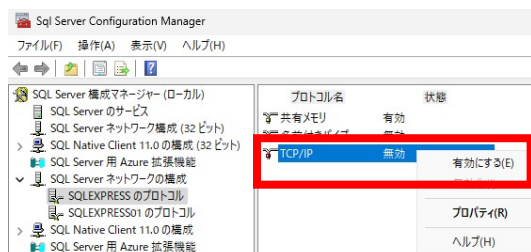
3. 確認したコマンドを入力し【OK】をクリック



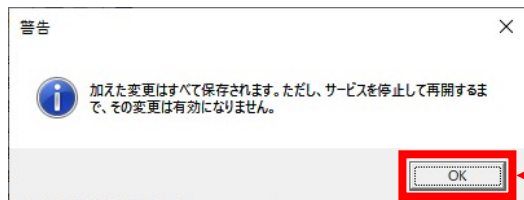
4. SQL Server Configuration Managerが起動します



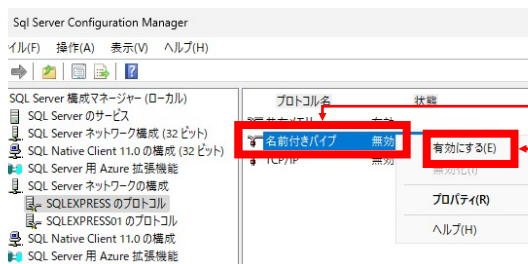
5. 画面左側の【SQL Serverネットワーク構成】⇒【SQLEXPRESSのプロトコル】をクリック



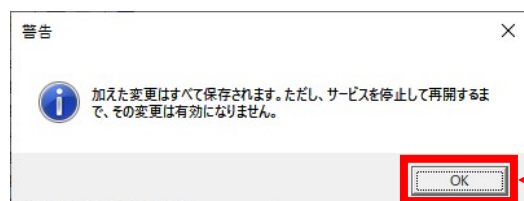
6. 画面右側の【TCP/IP】が無効の場合は、右クリック⇒【有効化】で有効にする



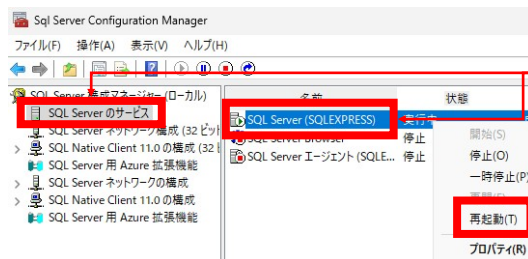
7. 【OK】をクリック



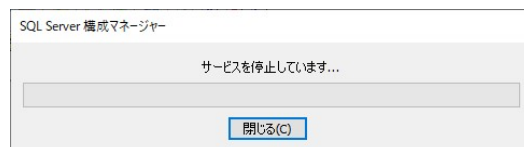
8. 画面右側の【名前付きパイプ】を右クリック⇒【有効化】をクリック



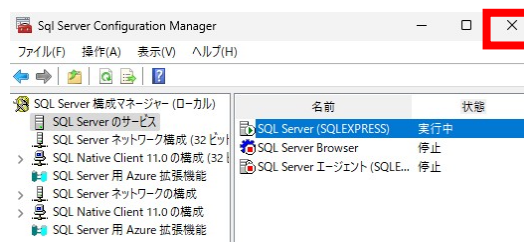
9. 【OK】をクリック



10. 画面左側の【SQL Serverのサービス】をクリック⇒画面右側の【SQL Server(SQLEXPRESS)】を右クリック⇒【再起動】をクリック



11. 表示が消えるまでしばらく待ちます



12. 完了したら画面右上の【×】をクリックして下さい

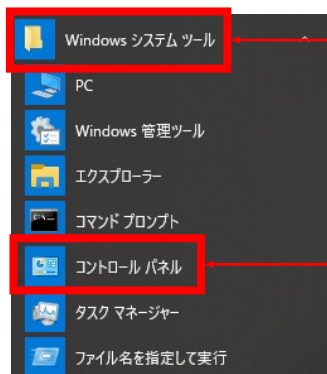
第5章. ファイアウォールの設定

※ファイアウォールの設定に関しましては、標準搭載のWindows Defenderによる設定のみを想定しています。Norton等のサードパーティ製のセキュリティ対策ソフトでファイアウォールを設定されている場合は本マニュアルの対象外となります。あらかじめ、ご理解下さい。

なお、有償での設定を承ります。詳細につきましては、ITサポートにご連絡ください。



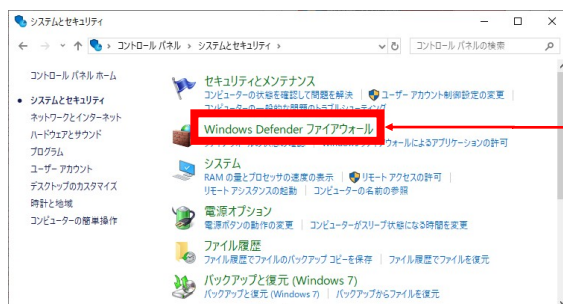
1. 【スタート】をクリック



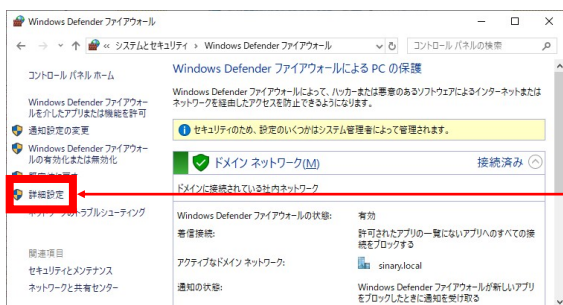
2. 【Windowsシステムツール】⇒
【コントロールパネル】をクリック



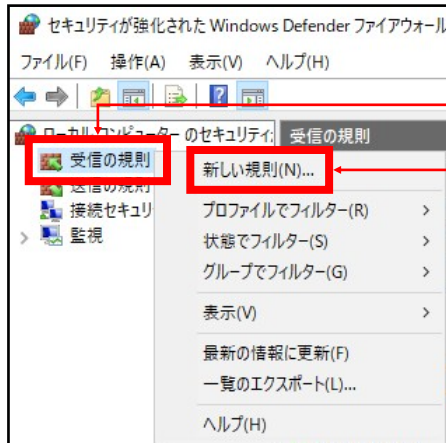
3. 【システムとセキュリティ】をクリック



4. 【Windows Defenderファイアウォール】を
クリック



5. 【詳細設定】をクリック



6. 【受信の規則】を右クリック⇒【新しい規則】をクリック



7. 【ポート】をクリックし【次へ】をクリック

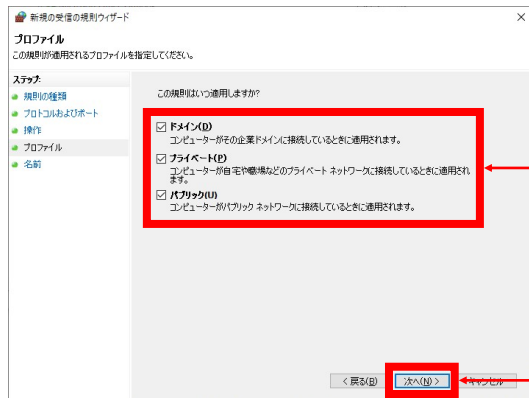


8. 【TCP】にチェック

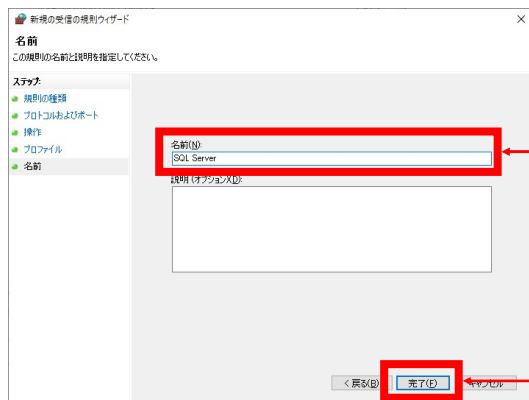
9. 【特定のローカルポート】にチェックし【1433-1434】を入力し【次へ】をクリック



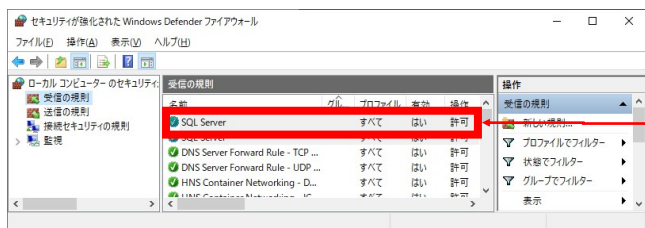
10. 【接続を許可する】にチェック⇒【次へ】をクリック



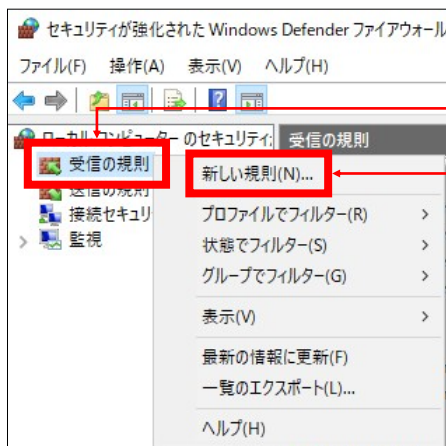
11. 3項目全てにチェックされていることを確認し【次へ】をクリック



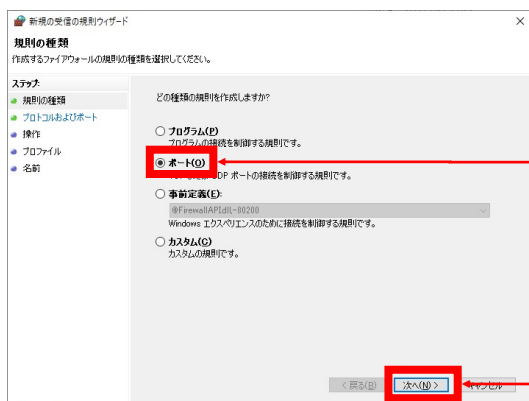
12. 名前欄に【SQL Server】を入力し【完了】をクリック



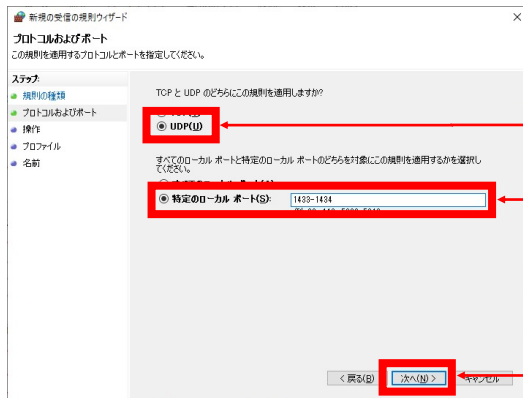
13. 作成した内容が追加されていることを確認



14. 【受信の規則】を右クリック⇒【新しい規則】をクリック



15. 【ポート】をクリックし【次へ】をクリック



16. 【UDP】にチェック

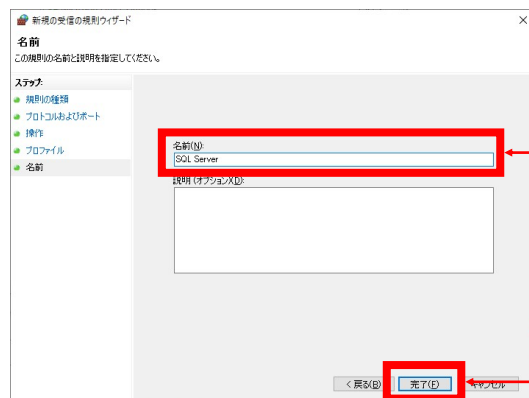
17. 【特定のローカルポート】にチェックし
【1433-1434】を入力し【次へ】をクリック



18. 【接続を許可する】にチェック⇒【次へ】をクリック



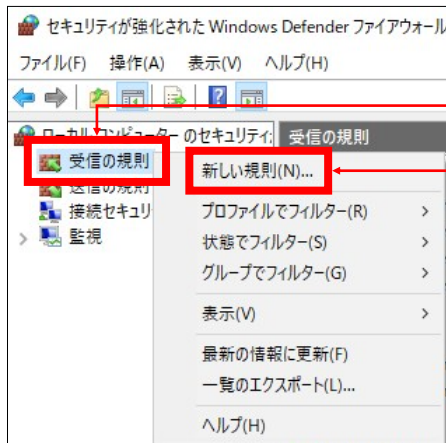
19. 3項目全てにチェックされていることを確認し
【次へ】をクリック



20. 名前欄に【SQL Server】を入力し【完了】をクリック



21. 作成した内容が追加されていることを確認



22. 【受信の規則】を右クリック⇒【新しい規則】をクリック



23. 【プログラム】をクリックし【次へ】をクリック

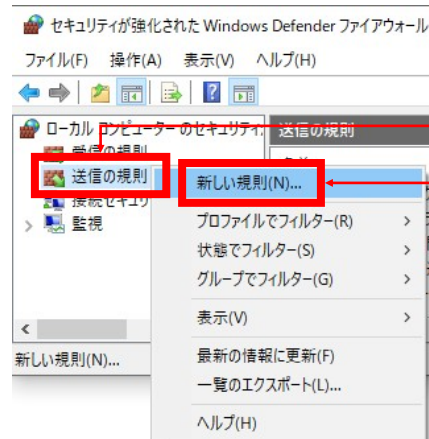
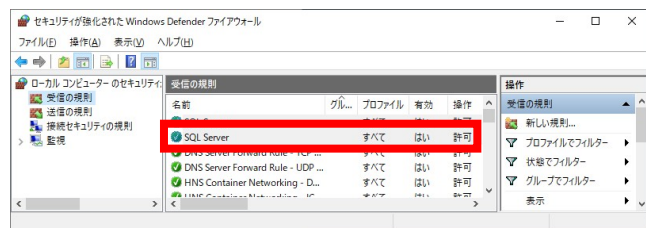
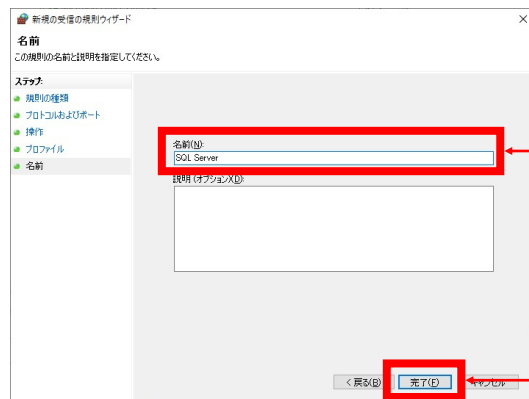
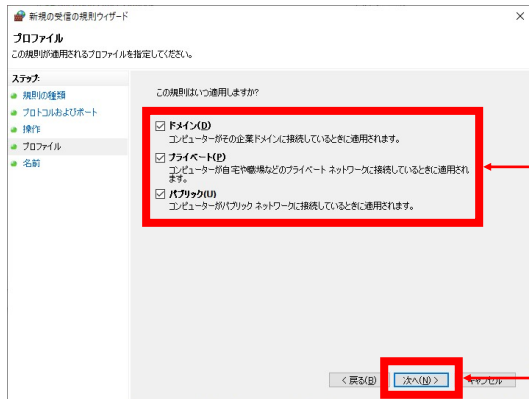


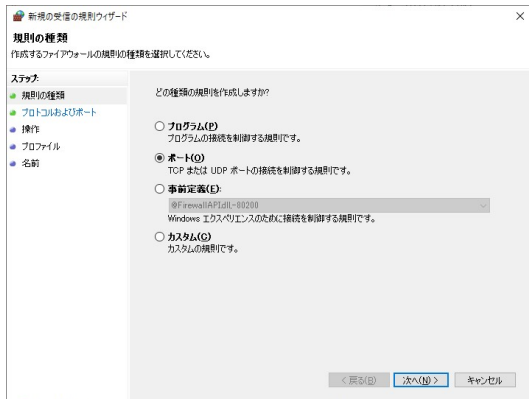
24. 【このプログラムのパス】欄に、SQL Serverのプログラムのパスを入力し【次へ】をクリック
 ※SQL Serverのプログラムのパス…
 第1章手順6の画面にある【実行ファイルのパス】に記載の “ ” で囲まれている箇所です。

※本例では下記を入力しています。
 【C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\MSSQL16.SQLEXPRESS\MSSQL\Binn\sqlservr.exe】

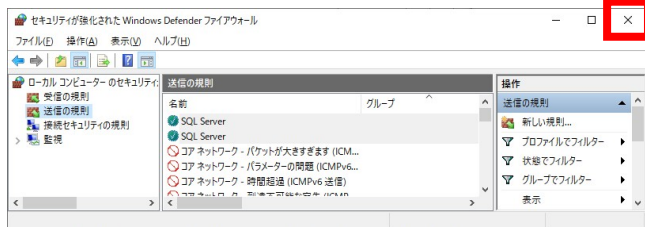


25. 【接続を許可する】にチェック⇒【次へ】をクリック





30. 手順7～28を参考に、送信の規則に対しても同様の設定を追加



31. 追加が完了したら画面右上の【×】をクリック

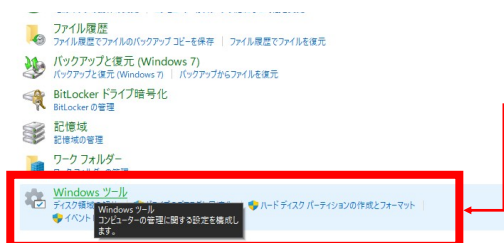


32. 画面右上の【×】をクリック

第6章. SQL Server Browserの設定



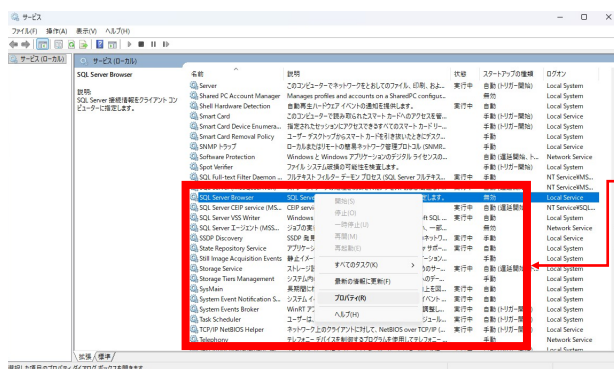
1. コントロールパネルを開き、
【システムとセキュリティ】をクリック



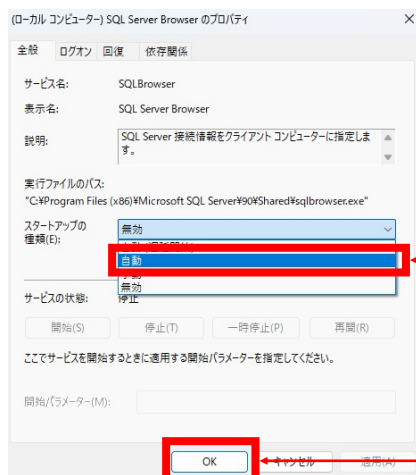
2. 【Windowsツール】をクリック



3. 【サービス】をダブルクリック



4. 【SQL Server Browser】を右クリックし、
【プロパティ】をクリック



5. スタートアップの種類を【自動】に変更し、
【OK】をクリック

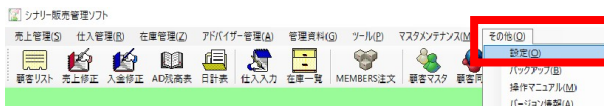
第7章. 販売管理ソフトの設定



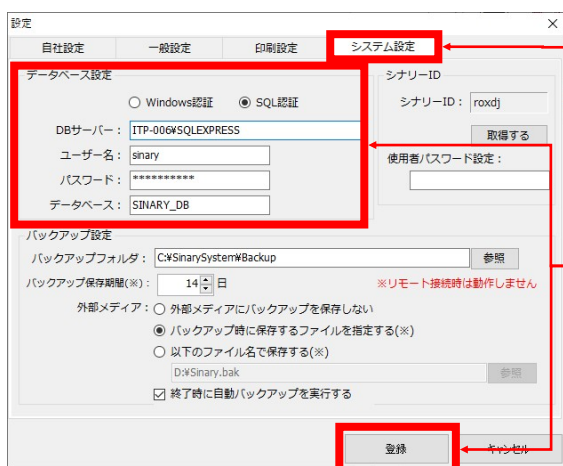
1. クライアント側（メインではないパソコン）に販売管理ソフトを新規インストール
※既に契約済みのため、同様のパスワードが使用できます。



2. インストールが完了したら販売管理ソフトを起動



3. 【その他】⇒【設定】⇒をクリック



4. 【システム設定】をクリック

5. データベース設定欄を下記の通り設定し、【登録】をクリック
SQL認証（←●を付ける）
DBサーバー：サーバー機のデバイス名¥SQLEXPRESS
ユーザー名：sinary
パスワード：sinary1201
データベース：SINARY_DB（←そのまま）

6. クライアント側のパソコンの販売管理ソフトを終了し、起動して下さい。問題なく起動出来れば設定完了です。
※「データベースエラー」が表示されたら、全ての設定を見直して下さい。